第5学年 外国語活動学習指導案

単元名 She can run fast. He can jump high. できること(We Can! 1 Unit 5) 本時のねらい

「できることやできないこと」の表現に慣れ親しむ。
 (外国語への慣れ親しみ)

児童の活動	学習内容	指導者の活動		○指導上の留意点
		HRT	ALT	◎評価
1 【Greeting】 ・挨拶をする。		H : Hello everyone. S : Hello, ○○先生.	A:Hello, class S:Hello, ○○先生. A:How are you ? その他、天候のこと 等。	○これから授業が始まる ことを意識させる。
1	I can ~. I can't ~.	社会の教科書を用意し、いくつかのヒントを 示し、ページを当てさせる。 T:I can see bananas. But I can't see oranges. I can see the ocean. But I can't see the mountains. S:It's page ○○.		 ○「big, small」「blue, red」等、形容詞を組み合わ せ、児童に問いかける。 Who likes beautiful ocean ? など
3 【Activity1】 「Who am I ゲーム」 ・教師のヒントを聞き ながら誰なのかを当 てる。		あらかじめ、先生方にで 、苦手なことを聞いてお て誰なのかを当てる。 T:Guess who I am. I I can sing well. I lii can't play tennis. I c I'm not good at sport (これを何度も繰り返 S:●● sensei ! T:Yes. That's right. M the piano well. He c But he can't play base	き、それをヒントにし can play the piano. ke music. But I can't play baseball. . Who am I? こして聞かせる。) r. ●● can play can sing very well.	 ○canとcan'tの違いが わかるように何度もゆっくり聞かせる。 ○児童の応答のみ(日本語)で終わらせず、HeやSheを使った英文や、play the pianoなど英文の塊を児童に何度も丁寧に聞かせる。 ○3、4人のグループで答えを考えさせるのもよい。

・代表の児童が どん	Yes, I can.	代表の児童を前に立たせる。質問の際、担信 はjumpやrun fastなどの動作カードを表示す る。他の児童に「Can you ~?」と代表の児童に質 問させ、代表の児童にYes, I canかNo, I can'tで答約 させる。 (教師がflyの動作カードを見せて) S: Can you fly ? 代表S: No, I can't. S: Can you run fast ? 代表S: Yes, I can. S: Are you a cheetah ? 代表S: Yes, I am.	ループやペアで行ってもよ f い。
5【Activity3】 歌"A sailor went to sea"		 一緒に歌いながら、やりとりを通じ児童が愚こえている音をモニターする。 A sailor went to <u>sea</u>, <u>sea</u>, <u>sea</u>, <u>To see</u> what he could <u>see</u>, <u>see</u>, <u>see</u>, <u>see</u> . But all that he could <u>see</u>, <u>see</u>, <u>see</u> Was the bottom of the deep blue <u>sea</u>, <u>sea</u>, <u>sea</u>. 	 ○たくさん聞かせなが ら、どんな音が聞こ えてきたのかを聞い たり、歌えそうなと 部分から歌わせたり する。(鼻歌でもよ い。)
6【Greeting】 ・挨拶をする。		HRT: That's all for today. Please stand up. Thank you ,class! 児童: Thank you , 〇〇. ALT: Thank you , class!	○お互いがよく頑張っ たことをリスペクト してあいさつする。